

# 川村 しんこう

県政  
レポート  
Vol.14

子供たちに夢と希望を  
お年寄りに安心と生きがいを

あけましておめでとうございます。

いつも皆さまには、あたたかいご支援をいただき誠にありがとうございます。  
新型コロナウイルス感染症で、岩手県内、日本国内、世界中で  
大変な状況となっておりますが、共にこの難局を乗り越えてまいりましょう。

川村伸浩

## 8つの目標

1. 基幹産業である農林水産業の振興
2. 観光立県いわての実現
3. 学校教育の充実と人づくり
4. 明るく豊かな長寿社会の実現
5. 東日本大震災からの復興
6. 地域を支える中小企業対策
7. 商工業の振興
8. 若者の雇用創出・安心して働ける環境の整備

新型コロナウイルス感染防止の為  
予防対策を徹底しましょう。

- マスクの着用、咳エチケット
- 密閉・密集・密接を避け、換気の徹底
- こまめな手洗い、手指の消毒

## PROFILE

### 川村伸浩

岩手県議会：●商工建設委員会委員 ●議会運営委員会委員 ●広聴広報会議座長 ●東日本大震災津波復興特別委員会委員  
昭和31年2月19日生まれ64才。岩手県花巻市高松出身。黒沢尻工業高校卒業。尊敬する人：新渡戸稲造。好きな言葉：一期一会。性格：辛抱強い

## 12月定例会・一般質問

### REPORT 01 新型コロナウイルス感染症の 影響と対応について

**Q** 令和3年度の県税収入が減収となる  
ことが予想され、予算編成への影響  
も懸念されるが、来年度の予算編成の考  
え方について知事に伺う。

#### 【知事】

**A** 県税は中期財政見通しよりも更に  
減収することが見込まれ厳しい予算編成とな  
ると認識。歳出面では政策評価等を踏まえ  
た選択と集中を図り、限られた財源の重点  
的かつ効果的な活用により一層努める。  
新型コロナウイルス感染症対策を進めると  
ともに、東日本大震災津波からの復興や「い  
わて県民計画(2019～2028)」に基  
づく施策を着実に推進していく。

**Q** 令和2年度及び令和3年度の県税  
収入の見通しについて伺う。

#### 【総務部長】

**A** 令和2年度の県税収入額は、現時  
点で前年度決算額に対して約47億円(3.  
6%)減、今年度当初予算額に対して約  
61億円(4.7%)減の約1,254億円  
と見込まれる。  
令和3年度の県税収入額については、現時  
点で今年度当初予算額に対して約108億  
円(8.2%)減の約1,207億円と見込  
んでいる。

**Q** 高齢者施設等で発生するクラスター  
の封じ込めと今後のクラスター対策  
にどのように対応していくのか。

#### 【保健福祉部長】

**A** 県ではクラスター発生に備え、保健  
所体制の強化、施設内感染時に職員等の不  
足に対応する応援システムを構築したところ。  
また「感染症対策チェックリスト」を作成、具  
体的な対策についての助言のほか、高齢者施  
設等を対象とした研修会を開催し感染防止  
対策を支援。現在発生しているクラスターへの

対応については、国で定義する濃厚接触者に  
限らず、他に感染が疑われる人の調査も実施  
することなどにより、早期に感染者を発見し  
感染拡大を防止するよう全力で取り組んで  
おり、現時点では感染拡大の封じ込めに向け  
て対応できているものとの認識。

引き続き感染防止の取組に努めるととも  
に、大規模クラスター発生時には「いわ  
て医療福祉施設等クラスター制御タスクフォ  
ース」の派遣を行うなどにより、クラスターの封  
じ込め及び感染拡大防止に対応していく。

### REPORT 02 岩手の農林水産物の イメージアップについて

**Q** 岩手県イコールに結び付く農林水産  
物を生み出し、岩手県の農林水産物  
のイメージを向上させていくための現状と  
課題、今後の取組について伺う。

#### 【知事】

**A** 県では、岩手の豊かさや信頼を象  
徴した「黄金の國、いわて」という統一イメ  
ージの下、安全・安心で高品質な農林水産物  
の魅力アピールしてきた。

三陸国際ガストロノミー会議では、国内外  
の著名なシェフ等から、本県の農林水産物  
また生産技術や食文化に対しても高い評価  
をいただいた。

こうした取組によりブランド力の強化が図  
られてきたと考えているが、県産農林水産物  
の評価・知名度をこれまで以上に高め、産地  
間競争に打ち勝つことが重要である。

情報発信力の高いシェフ等を対象にした産  
地見学会や、首都圏での岩手フェアの開催  
各種メディアの活用など、県産農林水産物の  
評価・信頼の更なる向上に取り組んでいく。

### REPORT 03 農業振興について

**Q** 米価の下落は農家への影響が大き  
く、生産費が収入を上回り赤字にな  
れば農家の生活は成り立たないが、米価の  
下落への対応について伺う。

#### 【農林水産部長】

**A** 米価下落は、新型コロナウイルス感  
染症の影響等による全国的な米の需給緩和



が要因であることから、国に対し、主食用米の市場からの一部隔離などを要望。

生産者の経営安定に向けては、「金色の風」「銀河のしずく」の新米発表会の開催、県産米を消費者に直接アピールするCMの放映、SNSを活用した発信などに取り組んでいる。

さらに、コストの低減等や食味向上に向けた取組の推進・拡大とともに、経営安定化に向け収入保険への加入促進など、引き続き、生産者が安心して米づくりを行えるよう取り組んでいく。

【農林水産部長】 岩手県農業再生協議会では、令和3年産の主食用米の生産目安が前年の作付実績に比べ約1,200鉢減となったことから、令和3年産の主食用米の作付面積などの市町村別の生産目安を例年より約1か月前倒しして示した。県では生産目安の減少に対応するため、今後必要が見込まれる飼料用米の作付拡大が進むよう、産地交付金を活用し、飼料用米の新規作付に対し主食用米との収入の差を補う新たな支援策を検討している。

【農林水産部長】

こうした支援策の検討状況を地域農業再生協議会へ情報提供するとともに、飼料用米・大豆等に加え、より収益性の高い野菜の作付を促すなど、水田フル活用による農業者の所得向上に取り組んで行く。

【農林水産部長】 スマート農業技術は、農作業の超省力化、飛躍的な生産性向上が期待できるほか、国が構築を進めている農業データ連携基盤「ワグリ」は、気象や土壌、農地等の様々なデータのフル活用による高品質な農作物(ぶつ)の安定生産などに大きく寄与するもので、こうしたデジタル技術の農業分野での活用は非常に重要。

【農林水産部長】

県は、令和3年産の主食用米の作付面積の減少に対してどのような対策をもつて対応していくのか。

県ではこれまで、トラクタ等の自動操舵や施設野菜の高度環境制御技術、ドローンでの病害虫防除等、スマート農業技術の普及を進めており、本年度は県北地域での普及を目指し、中山間地や傾斜地でも活用できるように、GPSを高精度で利用できる基地局を設置しトラクタの自動操舵の実証などの取組を進めている。

また、前出の「ワグリ」のデータベースを充実・強化し有効活用するため、土壌データやスマート農業技術の実証データ等の提供を進めており、今後とも国と連携しながら、スマート農業技術や、様々な農業データを共有・活用した生産性の高い魅力ある農業の実現に向け、積極的に取り組んでいく。

県内中小企業の経営状況とその対応について  
農林水産業への影響と対応について  
農業振興について  
水田基盤整備の今後について  
中山間地域等直接支払制度について  
道路整備について  
主要地方道花巻大曲線小倉山の2工区の進捗状況について



県ではこれまで、トラクタ等の自動操舵や施設野菜の高度環境制御技術、ドローンでの病害虫防除等、スマート農業技術の普及を進めており、本年度は県北地域での普及を目指し、中山間地や傾斜地でも活用できるように、GPSを高精度で利用できる基地局を設置しトラクタの自動操舵の実証などの取組を進めている。

また、前出の「ワグリ」のデータベースを充実・強化し有効活用するため、土壌データやスマート農業技術の実証データ等の提供を進めており、今後とも国と連携しながら、スマート農業技術や、様々な農業データを共有・活用した生産性の高い魅力ある農業の実現に向け、積極的に取り組んでいく。

【知事】 羽田線は、国内外とのアクセスの向上やインバウンドの誘客拡大、ILC実現を見据えたうえで重要な路線であると認識。

【知事】

航空会社に対しては毎年、羽田線の開設を要望してきており、昨年度には羽田発着について具体的に検討を行ったが、新幹線との競合による航空需要の見直しや羽田空港の発着枠の確保などが改めて課題とされた。早期の就航の見直しは厳しい状況だが、定期的な意見交換や、人事交流などで関係強化を進めながら、引き続き航空会社への要望を行っていく。

【知事】

現在、新型コロナウイルス感染症の影響により航空需要が大きく落ち込んでいることから、県としては、まずは既存路線の需要回復に向け利用促進の取組を進めている。

その他、以下の項目について質問をしました。  
新型コロナウイルス感染症の影響と対策について

県内中小企業の経営状況とその対応について  
農林水産業への影響と対応について  
農業振興について  
水田基盤整備の今後について  
中山間地域等直接支払制度について  
道路整備について  
主要地方道花巻大曲線小倉山の2工区の進捗状況について

県内中小企業の経営状況とその対応について  
農林水産業への影響と対応について  
農業振興について  
水田基盤整備の今後について  
中山間地域等直接支払制度について  
道路整備について  
主要地方道花巻大曲線小倉山の2工区の進捗状況について

### 第20回 都道府県議会議員研究交流会

第4分科会 テーマ『住民との関係強化』にて、パネリストとして参加しました。



#### 発表テーマ 岩手県議会による住民参加の取組 — 県民と県議会との意見交換会 —

これまでの岩手県議会の県民との意見交換会の歩みについて紹介。

- 岩手県議会基本条例に基づく広聴広報会議の設置
- 「本音で語ろう県議会」の開催
- 「本音で語ろう県議会」の課題
- 県民との意見交換の場の見直し
- 「県民と県議会との意見交換会」の開催
- 過去3年間の開催状況
- 寄せられた意見・提言の取り扱い

【農林水産部 農村計画課】 土地改良区などが発注する暗渠排水工事において、県営・市町村営と同等の規模の工事実績が出ているところ。企画競争への応募資格要件については、このような状況を踏まえ、見直しを検討しているという。

【農林水産部 農村計画課】 土地改良区などが発注する暗渠排水工事において、県営・市町村営と同等の規模の工事実績が出ているところ。企画競争への応募資格要件については、このような状況を踏まえ、見直しを検討しているという。

【農林水産部 農村計画課】 土地改良区などが発注する暗渠排水工事において、県営・市町村営と同等の規模の工事実績が出ているところ。企画競争への応募資格要件については、このような状況を踏まえ、見直しを検討しているという。

### 9月定例会・決算特別委員会

【農林水産部 農村計画課】 土地改良区などが発注する暗渠排水工事において、県営・市町村営と同等の規模の工事実績が出ているところ。企画競争への応募資格要件については、このような状況を踏まえ、見直しを検討しているという。

## 川村しんこうの主な活動報告 (令和2年8月~12月)

### 8月

- 「いわて政治塾」開塾式
- 災害対策連絡本部会議
- 環境問題・地球温暖化対策調査特別委員会
- 復興特別委員会
- 道の駅はなまき西南 開所式
- 高橋清孝氏生誕100年記念祝賀会
- 自民党市町村支部との意見交換会
- 胡四王神楽鑑賞会
- 高校再編後期計画に関する意見交換会
- 農村整備議員クラブ 研修
- 花巻商工会議所 魅力ある道づくり懇話会

### 9月

- 臨時会(9/8)
- 9月定例会(9/29~10/27)
- 商工建設委員会
- 環境問題・地球温暖化対策調査特別委員会
- 県政調査会
- 豊沢川土地改良区創立70周年式典
- いわて政治塾(第2回)
- 安野稲荷神社例大祭
- 商工建設委員会県外調査(福島・山形)
- 市町村要望調査(9/23~25)
- 私学団体関係予算要望

### 10月

- いわて政治塾(第3回)
- 決算特別委員会
- 矢沢中学校吹奏楽部定期演奏会
- 岩手県戦没者追悼式
- いわての地域づくり・道づくりを考える大会
- 笹間地区統一要望
- 未来デザイン地方創生はなまき政策アイデアコンテスト
- 農業農村整備推進議員クラブ 研修会
- 菅総裁とリモート対話

### 11月

- 花巻市勢功労者表彰式
- 復興特別委員会現地調査(田野畑村)

- いわて政治塾(第4回)現地研修
- 佐々木英樹氏 受賞を祝う会
- 中央要望陳情  
・文科省 ・厚労省 ・総務省  
・農水省 ・国交省 ・復興庁  
・総理官邸



- 都道府県議会議員研究交流会(パネリスト)

- コロナウイルス関連要望調査(リモート)

- 小倉山4号トンネル築造工事安全祈願祭
- 中小企業団体中央会要望

### 12月

- 12月定例会(11/25~12/8)
- いわて政治塾(第5回)
- 新型コロナウイルス関連中央要望
- 商工建設委員会県内調査
- 親子県議会教室
- ILC意見交換会



皆さんのご意見お聞かせください



川村しんこうホームページ

http://shinko-kawamura.iwate.jp

## 川村しんこう事務所

〒025-0079 岩手県花巻市末広町6-16  
TEL.0198-29-5061 FAX.0198-29-5062  
E-mail:shinkoujimusyo@gmail.com



川村しんこう Facebook

https://www.facebook.com/KawamuraShinko/

